

くまがい 裕人 市議会レポート

— 議会活動報告(大宮区版) —

KUMAGAI, hiroto

The city council report Vol. 152 (15-04)

発行 / さいたま市議会議員 くまがい裕人事務所

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 2-69-10

Phone 048-640-5977 / Fax 048-640-5966

E-mail : office@kumachan55.jp

定例会も早、後半戦に。16日からは予算審査が始まります。

2月4日に会期 31 日間で開会となった2月定例会も 16 日から早くも後半戦に入り、予算委員会での予算審査が始まります。

最初に平成 26 年度の補正予算案が、次いで平成 27 年の予算案が、3月上旬までの日程で、連日、所管別に審査されることになります。

2月9日の本会議代表質問において、清水市長と稲葉教育長と熱い議論を戦わせた くまがい裕人 議員は、今度は2月20日の予算委員会において、教育委員会所管の予算案についての質問に立つ予定です。

さて くまがい裕人 議員は、今2月定例会で既に本会議代表質問とまちづくり委員会議案外質問で質問に立っています。

本会議代表質問では、1.18 歳選挙権実現を見据えた主権者教育の実施について 2.学校でのいじめを無くす取り組みについて 3.児童虐待防止策について 4.貧困の連鎖を断ち切るための方策について 5.防災のまちづくりについて 6.経済活性化対策について 7.スポーツや観光を活かした賑わいづくりについてを、まちづくり員会では、1.タイル歩道について 2.新設の長距離バスターミナルについて、新しい提案などを交えて質問を展開しました。※裏面に質問要旨概略と答弁概略有り

今定例会では、3回の質問機会がありますが、本会議質問と予算委員会質問は、Children First! (子どもが最優先)の視点から、まちづくり委員会の質問では、身近な出来事を受けての質問を展開しています。

引き続き皆様のご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



さいたま市議会議員

くまがい裕人

議会/まちづくり委員会委員、議会運営委員会委員、決算・行政評価特別委員会副委員長、適正な発注制度及び人員配置に関する調査特別委員会委員
会派/政策調査会長
市 / 防災アドバイザー (防災士)

定例市議会報告活動

毎月第2・4週の平日の朝7時から8時半まで、曜日と場所を定例化して、街頭からその時々の議会状況の報告活動を行っています。朝の忙しい時間帯ですが、皆様の市政に関するご意見やご要望など、ぜひ直接お聞かせください。

- 月：大宮駅西口 アルシェ横
 - 火：大宮駅東口 トトちゃん広場
 - 水：新都心駅東口 (大宮公園駅)
 - 木：大宮駅東口 市民ロータリー
 - 金：大宮駅西口 デッキ上の南口
- ※雨天は中止とし、議会日程に係らず定例で活動していますが、他の日程や体調不良などで、翌週等にスライド変更になる場合もありますので、予めご了承をお願いします。
また第1・3週の月か木曜日に西口の埼京線口での活動日も有ります。

くまがい裕人事務所
Children First! すべては子どもたちのために!
民主党さいたま市議団大宮区事務所

産業道路と旧16号の「堀の内交差点」の角に在る大きな看板とガラス窓の事務所が、くまがい裕人事務所です。ちょっと話したい、聞きたい事や相談事、市への要望、雨宿りなどなど、何でも気軽にお立ち寄りください。

どんなことでも気軽に声を掛けてください。



《トピックスI》 本会議代表質問の概要

※抜粋概要

○本会議代表質問から（答弁者は稲葉教育長、清水市長）

1. 18歳選挙権実現を見据えた主権者教育の実施について

熊谷：今国会で選挙年齢を18歳へ引き下げる法案が成立する見込みだが、若者の政治参加のための準備学習として効果のある模擬投票が、昨年12月の衆議院選挙の時に本市で初めて大宮北高校で実施された。どのような選挙が行われ、その成果と今後の学校における主権者教育について伺う。

答弁：今回は比例代表選挙のみで、事前に各政党のパンフレット等で情報を収集し、立会人を置いて実際の選挙さながらの投票を行った。

開票結果を生徒に公表し、実際の結果との比較や選挙前後の意識の変化など調査した。感想には、「選挙に対して関心が高まった」というものもあり、90%以上の生徒が選挙権を得たら投票すると答えている。大変効果が有ったと考えている。今後、高校生に国家・社会の責任ある形成者として自立して生きる力を身に付けさせるため、様々な場面で主権者教育の取り組みを進めて行きたいと考えている。

2. 学校でのいじめを無くす取り組みについて

熊谷：LGBTという言葉を知っていますか？性的マイノリティについて、学校現場で適切な情報提供が行われていない現状が有り、いじめに繋がっているという調査結果も出ている。数字上では40人のクラスに2名程度の対象の子どもが居ることになるが、学校における理解と啓発活動について伺う。

答弁：人権課題の一つであるLGBTの中でも、特に学校で配慮が必要とされる「性同一性障害」については、平成21年度から全ての学校に対して調査を実施し、調査結果を基に該当校に対して、児童生徒が不安を感じることがなく学校生活を送れるよう適切な支援を行う体制を整えている。教職員の理解不足が原因でいじめの対象になってしまうことは有ってはならないことで、全ての市立学校の校長と教頭、人権教育主任を対象に人権教育研修会を開催し、LGBTに対する正しい理解を図っている。

熊谷：カナダで始まった「いじめ反対の日」ピンクシャツデーの取り組みが世界75か国に広まり、わが国でも広まりつつある。本市でもちょうどイベントが行われているが、本市での取り組みについて伺う。

答弁：この取り組みは、生徒自身がいじめられている他人のために立ち上がり、自ら考え、具体的な行動を起こし、いじめを撲滅したという大変素晴らしいもの。本市でも各学校において「校内子どもいじめ対策委員会」を設置して児童生徒自身が取り組んでいるところであり、大切にしたい。

5. 防災のまちづくりについて

熊谷：大地震が起こる確率が高まる中、本市は地震に強い大宮台地の上に位置することや交通の要衝であるという地理的理由から、企業のバックアップ拠点として注目されている。この機を逃さずに大宮駅東西口の再開発事業を早急に進めるべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁：さいたま市が選ばれる都市となるには、災害に強く、安心・安全であることが大変重要な要素と考えていて、「広域防災拠点都市づくり」として、防災都市づくりに積極的に取り組んでいる。大宮駅周辺では、民・官協働によるまちづくりに取り組んでおり、再開発事業が具体化しようとしているところ。

熊谷：プラザノース付近は、市北部の地域の重要な防災拠点であるので、移転新設される北部医療センターと今の内から綿密な連携を図り、まちづくりの中にしっかりと位置付けるべきと考えるが所見を伺う。

答弁：市北部地域における災害を視野に入れたまちづくりという視点では、防災機能が集積した地域で、防災関連施設を有機的に連携し、防災活動に取り組むことは大変有意義。歩行者デッキでつなぐことを含め、病院とどのような連携を図ることがより有効であるか情報交換した行きたい。

☆ 質問の様子は、さいたま市議会公式HP <http://www.saitama-city.stream.jfit.co.jp/> で、録画配信されています。☆

《平成27年2月の定例駅頭活動・市議会報告活動週間の予定》

- ① 2月16日（月）から20日（金）第4週の平日の朝7時から8時半まで、定例場所にて
- ② 2月23、25、26日の朝7時から8時半まで、大宮駅西口埼京線口、大栄橋西交差点などにて

※その他、天候や議会の都合により、中止や時間短縮、振替開催となる日も有ります。予めご了承ください。

引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

facebook を通じて、議会状況や活動状況、日々のちょっとしたこと等を短めのコメントで随時発信しています。facebook を利用していただきくまがい裕人と「友達」になると、情報の閲覧と相互でのコメント交換が可能になりますので【熊谷裕人】で検索の上、メッセージを添えて気軽にリクエストをお願いします！ twitter も始めました。